

C サポ通信 秋冬号

2024年12月
No.14

一般社団法人消費生活総合サポートセンター(C サポ) 会長 小野由美子

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6-33 Tel&Fax 03-6268-9873 <https://www.c-support.or.jp/>



全国ネットワーク会議を開催しました

2024年9月23日(月)

2024年9月23日、「全国消費者教育ネットワーク会議」が開催されました。本会議では消費者教育の新たな視点や実践例を共有し、対策を議論する場として、多くの関係者が参加しました。

第一部では、二つの基調講演が行われました。一人目の江國泰介氏(当センター顧問)は「知的障害者のお金の使い方と守り方」をテーマに、日常生活での具体的な工夫を7つの秘訣として示し、実践的なアドバイスを提供しました。また、悪質商法への対処法についても具体例を交えて解説し、参加者の関心を集めました。

続いて登壇した小野由美子氏(当センター会長)は「支援を要する消費者」をテーマに、高齢者や障害者をはじめとする「要支援消費者」の状況的脆弱性に焦点を当てました。地域社会における消費生活センターの役割や包括的なサポート体制の重要性を語り、特別支援学校や地域連携による金銭教育の実例を示しました。支援がどのように生活の安定に寄与するかを実証的に説明し、具体的な提言を参加者に共有しました。

第二部のパネルディスカッションでは、特別支援学校や福祉施設での消費者教育の取り組みが紹介されました。須藤真人氏(東京都立水元小合学園主任教諭)は、特別支援学校における実践例として、生徒が収支管理や予算作成を体験する活動を通じ、将来の自立生活を支える基盤を形成していることを報告しました。また、現代の金融環境に対応したキャッシュレス教育の重要性も強調されました。

田辺裕子氏(社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 東京都育成会権利擁護支援センター 主任支援員)は福祉施設における金銭管理支援の実際を紹介しました。通帳や印鑑の保管、収支確認、キャッシュレス決済への対応といった実務的な支援に加え、金銭トラブルへの対処や利用者の意思を尊重した支援方法を議論しました。また、福祉従事者以外の関係者を含む地域ネットワークの重要性も訴えました。

その後パネルディスカッションを行い、支援が必要な消費者の生活支援について多方面からの意見交換を行いました。オンライン参加者からも熱心なご質問をいただきました。最後に、消費生活総合サポートセンター(C サポ)の活動報告が行われ、具体的な実績と今後の取り組みが示されました。会議後は昨年に引き続き懇親会を開催し、ネットワークの拡大と交流を図りました。

なお、[当日の動画は年内視聴可能です](#)。改めてご覧いただければ幸いです。



今年度第3回となるC サポ理事会が、理事7名全員及び竹下直昭監事の出席のもとオンラインにて開催されました。

今回は決議事項がなく報告事項1件のみでしたが、報告された内容について了承されました。

【報告事項】

■ 職務執行状況の報告の件

会長及び専務理事の職務執行状況を定款第22条第5講に基づき、2024年4月から同年9月までの業務について次のとおり報告しました。

■ 会長の職務執行状況報告

2024年度の理事会及び社員総会を次の日程で開催しました。

- 5月26日(日) 第1回理事会
- 6月23日(日) 定時社員総会
- 6月23日(日) 第2回理事会

重要な決定事項は次のとおりです。

- 1) 第1回理事会及び定時社員総会で2023年度の事業報告及び決算報告の決議を行いました。
- 2) 第1回理事会で理事候補を選任し、定時社員総会で理事選任の決議をしました。
【再任】小野由美子、新井秀雄、中上直子、窪田久美子、内藤恵美子、江川隆子、佐藤雄一郎
- 3) 第1回理事会で監事候補を選任し、定時社員総会で監事選任の決議を行いました。
【新任】竹下 直昭
- 4) 第2回理事会で代表理事(会長)と専務理事を選任し、また、代表理事と専務理事以外の理事の役職を決定しました。
- 5) 諸事業の稟議書並びに契約書等の決裁を行いました。

■ 専務理事の職務執行状況報告

理事ミーティングを次の日程で開催し、月次報告等を行いました。

- 4月10日(水) 4月24日(水) 5月1日(水) 6月5日(水) 7月10日(水)
- 8月21日(水) 9月11日(水)

主な職務内容は次のとおりです。

- 1) 2024年度の理事会、監査及び社員総会のための資料作成並びに運営を行いました。
- 2) 諸事業の稟議書並びに契約書等の承認あるいは決裁を行いました。
- 3) 理事の再任、監事の新任の登記を完了しました。

各委員会の活動紹介

新宿区消費者講座

事業委員会

令和6年度新宿区消費者講座 全6回(7月~2月)をC サポが受託しました。講座では、様々なジャンルを取り上げています。小学生と保護者の親子講座で金の使い方学ぶ第1回の講座にはじまり、第2回も夏休みの親子講座として、エシカル素材で花瓶やペン立てをつくりながらエシカル消費の学習につなげました。

第3回は、身近な問題なのにあまり講座としては見かけないテーマである賃貸アパート契約に関するトラブルを取り上げました。

第4回は、基礎から学ぶ資産運用として、投資デビューをしたい初心者の方に向けて基本から投資の考え方を学びました。また、最近は詐欺的な投資話が多くなるなか、基本が分かっていたら詐欺的な投資にひっかからない予防ともなります。

第5回は、1月に予定しているネットショッピングの注意点をスマホの操作とともに知っていただく講座を予定、第6回は、バレンタインデーが近い日程ということで、エシカルチョコを使って手作りチョコを親子で作ってもらいます。ここではエシカルチョコを使うことでSDGsについても併せて学んでいただく予定です。



このように、幅広くテーマを取り上げて全6回の講座を実施&予定しています。(写真は第1回講座の様子)

講座タイトルをクリックすると、ダイジェスト版を見ることができます。一部動画も掲載しています。ぜひご覧ください。



7月28日(日)	第1回 親子で挑戦！お使いゲーム&おこづかい帳でお金の達人を目指そう
8月24日(土)	第2回 親子で挑戦！エシカル素材で花びんやペン立てを作ろう！
10月5日(土)	第3回 えっ！私が払うの？その修繕費 ～賃貸アパートの契約と退去時トラブル回避のためのポイント～
11月23日(土)	第4回 2024年投資デビュー 基礎から学ぶ資産運用
1月19日(日)	第5回 ネットショッピングを安全に楽しむコツを学ぼう！ シニア向けスマホ教室
2月2日(日)	第6回 親子で考えるエシカル、楽しく手作りバレンタインチョコ

講師派遣事業

消費者教育委員会

講師派遣事業(出前講座)は11月末までにリアル開催の講座を20件行いました。今年度は行政機関や学校のほか、就労移行支援事業所からのご依頼を受けました。

テーマは「SDGs」「エシカル消費」「特別支援」「講師養成」「消費者教育」など引き続き専門性の高いテーマが多い中、終活やネットトラブルなどもみられました。

定例的あるいは自主的に行う小集団活動の中で、情報の共有やスキルアップを図っています。実績はCサポWebサイトの「講師派遣」で報告していますので、ぜひご覧ください。

画像をクリックすると、講座の詳細がご覧になれます。是非、ご覧ください。

■学校講師派遣

横浜市立今宿南小学校
おいしいチョコレートの裏側 あなたが選ぶと未来が変わる
 ～つくる責任 つかう責任～

2024年9月30日、横浜市立今宿南小学校6年生の総合の講師をCサポが担当させていただき、2クラス60名の児童が受講しました。

【内容・目標】
 総合で学習しているフェアトレードについて、児童に身近なチョコレートの事例で学習を深める。

●チョコレートは好きだけど、生産工程はわからない、という児童に、グループで相談してカカオ農家がどうしているのか順番にカードを並べてもらいました。

●カカオ農家の貧困、児童労働、危険な作業などの問題点を押さえて、学校に行けず字が読めない辛さをクイズで体験体験。

●カカオ農家を貧困から救うためにフェアトレードの仕組みを中心にメーカのいろいろな取り組みを説明。チョコを買うときは箱の「裏側」を見て情報を読んで買うように伝えました。

ご依頼元より
 具体的にフェアトレードという難しい内容を6年生でも分かりやすく説明していただき、子どもたちの振り返りをもとでもためになったという声が多かった。遠い国の話ということで留まることなく自分たちにもできることという考えながら進めていただけた。これからの総合に繋げていこうという子どもたちの意見が多かった。

■講師養成講座

横浜市、南房総市、都内私立高校等で実施。

国民生活センター、群馬県消費生活センター、愛知県消費生活センターで講師養成講座を、さいたま市障害者総合支援センターで障がい者向け講座を行いました。

■一般講師派遣

松戸市、袖ヶ浦市、横浜市等で実施。

袖ヶ浦市 消費者教室及び平川生活いきいき講座
「これで安心！知ってお得！インターネット通販利用方法」

2024年7月25日開催の消費者教室の講師をCサポが担当させていただきました。19名の方にご参加いただきました。



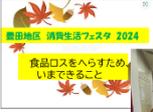
【内容・目標】
豊かで潤いのある消費生活を送っていただくために、暮らしに役立つ情報としてインターネット通販の利用方法について学ぶ。

- インターネットが関係する消費者トラブルを紹介し、その対処法を説明しました。
- Cサポの模擬サイトにアクセスし、インターネット通販の注意点を伝えました。
- 記録を残す重要性を伝え、参加者自身のスマートフォンでサイト内の情報をスクリーンショットし、画面保存の練習をしました。

ご依頼元より
・身近な通販トラブルについて、実際の事例でわかりやすく聞けて、大変勉強になった。
・参加者が実際にスマートフォンを操作したことで、ネットの注意点やスクリーンショットでの記録の残し方を体験して学ぶことができた点良かった。

豊田地区消費生活フェスタ 2024
エシカル講座「食品ロスをへらすために いまできること」

2024年10月12日、豊田地区生活推進委員によるイベントに於いて、エシカル講座の講師をCサポが担当させていただきました。



【内容・目標】
私たちの食生活は環境問題と結びついているので、一人一人が食品ロス削減の努力することが気候変動対策になることを理解し、実践していただく。

- ・地球環境の現状およびこれから先の気温上昇などについての予想や、食品ロスからの温室効果ガスが温暖化に大きな影響を与えていることをクイズを交えて、お話ししました。
- ・食品の一生からどのような場面で食品ロスが生じているかを挙げて、一人一人が何を付ければ良いかを具体的に説明しました。食品ロス削減の3Rルールに加えて冷蔵・冷凍1030運動や、非常時用食の確保にもつながるローリングストックの紹介もしました。

ご依頼元より
受講された方の感想から、食品ロス講座は具体的な数字やクイズを用いてインパクト大でした。温暖化への影響を初めて知りました。

首都圏を中心に講師活動が可能な方、講師登録をご希望の方は以下にご連絡ください。
消費者教育委員会 ML sho-kyo@c-support.or.jp

社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」 福祉サービス第三者評価委員会

福祉サービス第三者評価の評価項目の中には、「事業所と地域との連携や地域貢献」に関する項目があります。具体的には、「地域の福祉に役立つ取り組みを行っているか」として、①透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる②地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている③地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げる取り組みを行っている、などです。

社会や地域と福祉事業所の利用者を結ぶ大切な存在としてのボランティア活動
コロナ感染の拡大で数年間は活動ができませんでしたが、徐々に回復の兆しが見えてきました。音楽や舞踏、華道、茶道、書道、絵画、園芸、囲碁や将棋、折り紙など、利用者の日常を豊かにしてくれます。また、配膳、お風呂上がりのドライヤーかけとか、洗濯物たたみなど日常生活の支援もボランティアの活動に頼るところが大です。



事業所の地域貢献・交流の取り組み

小中学生の体験学習や実習生の受け入れなどがあります。また、「認知症カフェ」など地域の福祉活動に対して会場を提供したり、地元の夏祭りに事業所から参加する一方、地域の方々が事業所の文化祭やバザーなどに参加するなどして交流を深めています。

特養などは、災害時の福祉避難所としての役割も担っています。小規模な事業所では、地域の介護相談窓口の役割を担っているところもあります。

皆さまがお住いの地域に福祉事業所がありましたら、連携の輪を広げていくことができるかについて思いを巡らしていただけたらと思います。(江川)

12月10日、文部科学省消費者教育フェスタ in 埼玉で、展示協力団体として参加してきました。会場参加者は関係者を含めて157名、オンラインも183名の申込があったそうです。

テーマは「18歳成人に向けた幼少期からの消費者教育— 彩の国らしプラザでの体験・対話にみんなあつまれ！—」です。「18歳成人に向けた消費者教育は、いつから必要と思うか」という質問に、小学生からとっていたのですが、基調講演の汐見稔幸先生の講演や埼玉県の施設を見学しながら、なるほどと納得することが多い一日でした。

Cサポも展示の協力と、オンライン向けに動画を作成して案内しました。その動画がこちらからもご覧になれます。

(窪田)



情報提供

ゆうちょ財団「[季刊 個人金融 2024年 夏号](#)」に小野会長が寄稿しました！

【[特別支援学校における金融教育](#)】 東京家政学院大学現代生活学部教授 小野 由美子
最新号の[秋号](#)のテーマは「社会人に向けた金融経済教育」で、社会人に対する金融経済教育にフォーカスした寄稿が揃っています。

日本消費者教育学会 関東支部 40周年記念誌「[消費者教育の新しい動向](#)」

関東支部の40周年を契機とした一連の支部活動を振り返ることを目的とした記念誌が公開されています。「消費者教育推進法成立から10年：これまでの動向と今後の展望」「新しい学習指導要領にもとづく家庭科・公民科と消費者教育」「消費者教育に求められる金融のリテラシーとウェルビーイングの視点」の3部構成です。

内閣府消費者委員会「[消費者をエンパワーするデジタル技術に関する専門調査会報告書](#)」

Cサポの会長でもある東京家政学院大学 教授 小野先生が委員を務める内閣府消費者委員会でデジタル空間での消費者問題と対策について作業部会がまとめた[報告書](#)を見ることができます。

この内容は、2024年12月9日のNHK ニュースでも放映されました。その様子がこちらからご覧になれます。

[なりすまし広告などまん延 “技術的な対策” 国に求める](#)

皆様からの情報をお待ちしております！

